

●工事が中断した国鉄五新線／撮影 善光孝



日本一ながーいバスの旅

●関連記事
4
5
P

.....
153号(10月号)は
CDFふくい2013の
特集です!
.....

☆☆活動報告☆☆

8月20日 ROBA 8月例会・理事会
21日 カーフリーデー第2回実行委員会
9月10日 カーフリーデー第3回実行委員会
17日 ROBA 9月例会・理事会
9月16～19日
モビリティウィーク パネル展
福井県庁1F 福井市役所1F

☆☆今後の予定☆☆

9月20日(土)～21日(日)
カーフリーデー (福井市駅前 県庁線)
29日(月) カーフリーデー第4回実行委員会
10月5日(日) カーフリーデー関連事業
まちフェス(福井駅前 電車通り)
11日(土) 福井市環境フェア(パネル展、福井新聞社)
13日(月) 福鉄 FUKURAM ローレル賞受賞式典
15日(水) ROBA 10月例会・理事会
18日(土) 通まちづくりカフェ(フェニックスプラザ)
22日(水) えちぜん鉄道活性化連携協議会

照ちゃんの独書感想文

写真集 バス停留所

柴田 秀一郎 リトルモア 2500円

9月から車からバス通勤に戻った。(丸岡線/六才橋～松本小学校 270円) 九頭竜川手前から高木までの渋滞は相変わらずですが、この渋滞で新聞がゆっくり読めるのは非常にありがたい。バスの運賃もこの16年ほど値上げしておらず4月から消費税が8%に上がっても据え置きで、大和田エコラインが好調なのが理由なのか?は定かではない。

さてこの写真集。北は北海道川上郡比布(ぴっぷ)町～南は沖縄県国頭(くにがみ)郡大宜味(おおぎみ)村まで怒涛の181枚。ROBA認定優良バス停とは対極にあるバス停ばかり。バス停自体が傾いて倒れそうなものもたくさんあり、今は廃止になったものもたくさんあるのでは。(撮影は2001年～2009年)

路面電車サミット in 高岡参加報告

鳥居 健

遅くなりましたが、先月の清水さん、林博さん、善光さんの記事以外の内容で、気づいた点を簡単に報告させていただきます。

高岡駅に着くとまず、真新しくなった万葉線乗り場を見るために改札を出てエスカレータで下に降りました。林博さんが指摘されていたように案内表示が不十分なため、万葉線が駅舎の真下に乗り入れたことを知らない場合には、昔の記憶を頼って2階の通路を歩いてしまい、乗り場にたどり着くのに苦労するかもしれません。

夕方、高岡駅から米島口までハイトラムに乗車。日差しが強く、冷房もあまり効いていなかったのでしょうか、バッテリーが高く積み上げられた車内は結構暑く感じました。帰路の電車内では、立川志の輔さんの車内アナウンスが行われており、電車の利用を勧めるトークが、我々の思いを代弁しているようで面白く印象的でした。下記のサイトで、志の輔さんの車内アナウンスを聞くことができます。 <https://www.youtube.com/watch?v=6noV3d33h9A>

帰路高岡駅のホームで、「全国版のサミットよりも期間は短いが中身が濃く充実していて良い」と話されているのが聞こえていました。私も同感です。全国版では、国土交通省や自治体職員の参加を促すために金曜日の午後に開会するのが通例になっていますが、どうしても似たような講演が多くなって間延びしてしまう印象があります。

当日は北陸おでかけパスを持っていたので、午前中に富山県内での途中下車や高岡市内の散策も考えていましたが、猛暑のため大事をとって諦めました。懇親会での想定外の混雑に加えて、帰路金沢で乗り換えた福井行き電車も積み残しが出るほど混んでおり結構疲れしました。今年から50代に突入したためでしょうか、最近体力の衰えを痛感しております。



日本一長い路線バスの旅

善光 孝

日本一長い路線バスに乗って来ました。車体の長さが何と50メートル！・・・ではありません。下道（高速道路、高規格道路以外）のみの路線バスで走行距離が日本一なのです。ここからは紀伊半島地域の地図を見ながら、お読みいただければと思います。

その路線は、奈良県・近鉄の大和八木駅と、和歌山県・新宮駅を結ぶもので、走行距離は166.9km、停留所数167、所要時間は6時間30分！ 幻の国鉄・五新線（五条と新宮を結ぶ鉄道計画）に沿う路線で、奈良交通が1日3往復の運行をしています。

9月2日（火）の朝、前日を買っておいた“八木・新宮線”の2日間有効、途中下車可能切符を持って、大和八木駅前のバス乗り場へ。やがて新宮行きのバスが入ってきます。普通の高床路線バスを前扉だけにし、座席を最前列以外4列シートにしたものです。背もたれが低いので座ったままの見通しがよく、車内は広く感じます。整理券を取り、左最前列（運転手さんの横）に座ります。そして9時15分、長い旅の始まりです。10人くらいのお客さんを乗せ、街中に行く。運賃箱、運賃表、乗り心地、車内放送、すべてが普通の路線バスでした。“特急バス”と名前がついていますが、実にこまめに停車します。

バスはまず高田に向かい、そこから国道24号を南下、五条へ。途中、地域の方々の乗降も多くなりました。五条は5分遅れで到着。休憩を10分取り、10時35分、5分遅れで出発します。

五条からは国道168号を南下します。先に話をした幻の五新線は五条から新宮までの、五条寄りの5分の1くらいの坂本と言う所までレールを敷く直前の路盤工事が終わっていました。この内、五条郊外から城戸と言うところまでは、バスの専用道として活用されています。ただし、専用道は老朽化や、幅員が狭く速度が出せないため、9月末で廃止されます。バスに乗っていると、時々五新線の近代的な高架橋が見え隠れします。運転手さんが見える場所や現状などを話ししてくれます。この鉄道の完成時は、近鉄や南海電鉄が大阪から列車を乗り入れさせる構想があったと聞きます。完成していれば、沿線はどのような姿になっていたのでしょうか？ 五条郊外で、新宮からの上りの1番バスとすれ違いました。

日本一広い村、十津川村に入ると、国道とはいえ道幅は狭く、急カーブの連続した道になります。このバスの運転手さん、すれ違う村営バスや工事のダンプカーの運転手さんなどとは顔見知りのようで、互いに道を譲りながら気持ちよく進んでいきます。聞くとこのバスの運転は通し乗務で、この路線専属だと言う。ちなみに、この運転手さんは新宮が自宅だそうです。途中、上り2番バスとすれ違う。ここでのすれ違いは、道幅が狭いため、大幅な遅れの連絡がない限り、幅員の広い場所で対向車を待つそうです。鉄道みたいですね。

やがてバスは、上野地に着きます。ここで20分の休憩。近くにはこれまた日本一の鉄線つり橋があります。行ってみます。危険ですから20名以上は渡れません・・・？ 長さ297m、高さ54m！ 基本、高所恐怖症の私。バスの発車時間もあり、迷っている暇はない。とにかく渡る。足元の板は幅80cmくらいで、それ以外、下はスカスカ！ しかも急いで歩みを進めたため大揺れ！ お一怖！ でも何とか1往復。戻った直後の12時25分、お客さんが全員乗っているかの確認も行い、バスは発車します。この短時間で運転手さんは食事をしたようです。私は車内で乗車前に買ったパンを食べました。やがて、上り3番バスとすれ違います。

旅も残り3分の1の十津川温泉で3回目の休憩。ここも20分。付近を散策します。そして13時39分発車。まだ紀伊半島の真ん中で、山の中です。良い景色が続きますが、数年前の豪雨の爪痕が所々に残り、痛々しいですね。

やがて、熊野本宮大社、大きな川風呂で有名な川湯温泉を過ぎると熊野川の川幅も道幅も広くなり、バスは快適に山を下ります。この近辺は、並走する地元のバスもあるためか、多くの停留所を飛ばし、特急バスらしくなりました。そして15時30分ごろ、新宮の街に入ります。ずっと山の中を走っていたので、大都会に来たような感じがします。それから少し、終点の一つ前の停留所で止めてもらいました。みなさん、興味あるでしょう？ 整理券番号は何番か・・・。数枚取る。何これ？ 運転手さんがニコ。それ整理券発行機は二桁表示しかできないので番号は“9”で、隣の

案内書きの所に“+100”の印を押したんですよ。つまり「109番！」・・・。運賃表は、バカでかい？ものではなく、30番ずつ4回に分けて画面表示が変わります。そして15時44分、定刻に新宮駅に着きました。6時間30分、乗り通しました。乗り通したのは、私と旦那の定年後の旅行に来た夫婦の3人。その夫婦も満足感が現れていました。運転手さん、お疲れ様でした。この運転手さん、確認動作を含め、安全運転は徹底していましたが、合間に愛想よく沿線の案内もしてくれ、楽しい6時間30分でした。

さてさて、この八木・新宮線、実は存廃問題が起こっております。沿線の重要な足であり、観光路線でもあるため、沿線で補助をしばらくする事で当面は運行を継続する事になりましたが、先行きは微妙です。完全廃止までは行かないまでも、路線の短縮や分断の可能性があります。日本一と言う路線が故に、休日は多くの観光や乗車目的の客があり、分断されればそれらの方々の利用はまず無くなるでしょう。観光客が地域の足を支えている訳で、更なる魅力を作り出し、末永く存続してほしいものです。

その後、紀勢本線で串本に行きます。その2両編成の普通電車、発車40～50分前にもかかわらず、多くの高校生らが乗っています。直帰組には利用しにくいダイヤの様です。串本18時15分着。

潮岬行きのバスは、終バスが出た後・・・。実に不便。宿の方が迎えに来てくれました。その宿は、正真正銘、本州最南端の宿です！ 可愛い年中さんの男の子が部屋に案内してくれました。

ついでに、もう一つ。翌日は和歌山経由で高野山に行きました。近畿三十六不動霊場めぐりをしており、残り最後の二つが高野山にあるのです。JR和歌山線と南海高野線の接続は全くダメ。山上バスも実に不規則なダイヤで、本当に使い辛いものでした。こんな所を改善してくれれば良いのですがね。三十五番目の“不動院”、そして三十六番目の“南院”と言うお寺さんで満願となりました。4年かかりました。夜の宿泊は、そのお寺さん。宿坊ですね。食事は精進料理です。一応、作法はわきまえていますが、最近はあまり堅苦しくしない様で、ビールも出てきました。翌朝は、6時30分からお堂で朝のお勤めをしました。・・・高野山、山の上に、なぜかできた平らな部分に、たくさんのお寺さんだけでなく、役場、警察、消防、病院、体育施設、小中高校、大学、商店街、住宅地のすべてがあります。究極のコンパクトシティですね。午前中、その高野山の街を歩いてめぐりました。

また、大阪ではインスタントラーメン博物館、オムライス発祥の店、吉野山などもまわりました。

以上・・・



久しぶりの恐竜博物館

お盆休みを利用して、久しぶりに福井県恐竜博物館に行ってきました。

勝山に向かう途中の永平寺には、田園風景の見どころとして「霧」があります。朝霧が出始めた頃に永平寺地区を通り抜け、自然の偉大さを感じながら、ふわふわと漂う霧の風景に見とれていました。



さて、恐竜博物館ですが、仕事の関係で恐竜全体の骨格標本とフクイラプトルとフクイサウルスの骨格を具体的に確認するため博物館に足を運びました。お盆の最終日なので「人は少ないだろう」との甘い考えで、11時前に勝山入りしました。すでに会場の駐車場は満車で国道沿いにある臨時駐車場に誘導されました。そこからはシャトルバスが出ており裏道を通り抜け、スイスイと博物館に入ることができました。

恐竜バス ダイナゴン(観光バス)もコミュニティバスぐるりんからも、お客さんが下りていました。しかし、圧倒的多数でマイカーで来場するお客さんが多いと思うので、えちぜん鉄道に乗ってきた人は、恐竜博物館内にあるレストランには並ばずに入れる！なんて特典があるといいのに…と思いながら館内めぐりを楽しみました。



ティラノサウルス



フクイラプトル



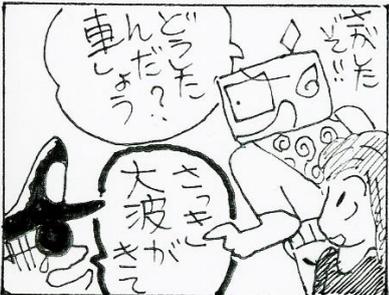
ホワイツサウルス

勝山にお越しの際は、新しくなった勝山駅と、えちぜん鉄道直営の「えち鉄カフェ」にお越しくださいね。



※えち鉄カフェ、勝山駅の写真はフェイスブックより

快速!! 哲学
路面ライダー



作/漆寄 耕次

編集後記 ……編集委員より一言

内田(発行責任者)

「7月に福井市市民大会の競泳部門60歳以上の背泳ぎと平泳ぎに出場しました。俄か練習ではダメですね」

林(変集長)

「母の遺品整理と改築した台所の後始末で週末はつぶれています。稲刈りも近い。CFDふくい協力できなくてゴメンナサイ」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>